



## 京都市総合教育センター「幼小接続講座」①

こどもみらい館も  
連携しました

昨年度まで、京都市立小学校と京都市立幼稚園向けに行われていた「幼小接続講座」ですが、今年度は総合教育センターとこどもみらい館が連携することで、保育園（所）や私立幼稚園にも対象が広がりました。京都市が昨年度から行っている『幼保小の架け橋プログラム』のついでに、保幼小のみならず共有したいと願い、京都市教育委員会学校指導課参加から架け橋プログラムの概要を、架け橋プログラムに実際に取り組まれている京都市立御所南小学校の1年生の担任の先生からはその実践を聞きました。

ZOOMでの開催でしたが、ZOOM環境が整っていない園（所）も京都市総合教育センターから講座に参加することができ、園（所）・小学校と様々な場所から、保幼小接続・連携に思いをもった、たくさんの先生方が画面上に集まり、幼小接続について学ぶことができました。初めての取組でしたが、こどもみらい館には、私立幼稚園・保育園（所）・幼保総合支援室など、53名からお申込みいただき、皆さんから様々なご感想をいただくことができました。



現在の学校の取組や工夫されている点がよくわかった。また、保幼小連携という中で、お互いの事をよく知ること、また知った上で話し合う大切さを改めて感じることができた。

今まであまり知る機会がなかった小学校の取組を聞くことができたので良かったです。



子どもたちが安心感を持てるようにする取組を知ることができて、現在交流をしている小学校ともどのような取組をしていけば、子どもにとって安心感が生まれるのかヒントが得られた。



小学校でどのように架け橋プログラムを実践されているかが具体的によく分かりました。年長児が安心して小学校に行けるよう、近くの小学校ともっと連携していきたいと思いました。



新たなことをするのではなく、これまでの見直しからという話や今の小学校を知るという話を聞き、やっぱりそうだなあと再認識することができました。



子どもたちのために、何が出来るかを日々考え、今後活かせるといいなと思いました。幼稚園でどのように対策しておけば良いのかも知りたかったです。

それぞれの関係機関が同じ志を持って取り組んでいくために話を聞かせていただき、子どもたちにとってより良い小学校へのスタートが切れるように力を合わせていきたいと思いました。できることから始めていきたいです。



少しずつでも就学前施設と小学校に架け橋がかかるように、できることから取り組んでいきましょう！

\*「幼小接続講座②」は令和6年2月9日に予定しております。



## こどもみらい館 第6期研究プロジェクト

# 心の育ちをつなぐ保幼小連携・接続(IN 大將軍小学校)

実施しました

平成16年度から推進してきた、こどもみらい館の研究事業。令和4年度からは「心の育ちをつなぐ保幼小連携・接続」をテーマに、第6期研究プロジェクトに取り組んでいます。今回、大將軍小学校の御理解・御協力で、保幼小の関係者が、1年生の授業を参観し、その後「子どもの連続した学びと育ちを円滑につなげるために」をテーマに、「心の育ち」に目を向け語り合うことができました。「子どもたちを真ん中にして、大人同士が語り合いつなごりたい」「子どもの心に目を向け、その育ちを肯定的に捉えたい」という願いを持ち、子どもを真ん中にした大人同士の関係づくりの第一歩となりました。



### 目に見える力ではなく、主体としての心を育てたい

「私は私」「私は私達」という両面の心を備え、自分なりの折り合いをつけていけることが、人間形成の1番の目標ではないでしょうか。主体としての両面の心をバランスよく育みたいものです。



第6期研究プロジェクトアドバイザー  
大倉得史先生(京都大学大学院教授)

### グループ討議のポイント

- 子どもはそこでどんな体験をしどんなことを感じているか。
- 子どもの家庭生活や学校以外での生活はどんなものか。
- 子どもの育ちの歴史はどんなものか。
- 教師や保育者の関わりが、子どもの心にどんなものを残すか。

### それぞれの時期の子育てのプロが、連続的でスムーズなつながりを意識してほしい

#### 参加者の声(アンケートより)

- 卒園した子どもの様子を実際に見ることができ、自分の保育を振り返ったり、今の子どもたちへの関わりを改めて考える機会になりました。ありがとうございました。
- 現場の先生と直接意見交換や想いを伝え合うことができよかったです。こういうプロジェクトが今後もっと増えることを願っています。
- 話し合いの視点が今まで考えもしなかったようなものだったのでとても新鮮でした。
- 保・幼で大切にされていることを知り、「小学校」としての見方だけでなく、上手に取り入れ、活用していくことが大切であることを感じました。
- 学びの姿を見たり、園での姿を伝えたりできる機会となりました。心を育てることで色々な場面で対応できる、その子らしさを活かせるように寄り添っていきたいです。
- 小学校でも大切にしたいこととして心の部分の連続性を考えるきっかけとなりました。



第5回共同機構研修では、「保幼小連携・接続～あなたは何をはじめますか、架け橋期の子どもたちに～」をテーマに大林照明さん(佛科大学特任教授)にお話ししていただきます。是非御参加ください。(申込7/13～)

子どもを育む喜びを感じ、  
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都はぐくみ憲章]より



この印刷物が  
不要になれば  
「雑がみ」として  
古紙回収等へ！



発行日 令和5年7月7日  
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館  
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1  
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909  
URL : <https://www.kodonomirai.city.kyoto.lg.jp/>